

2022 年度事業報告書

事業期間：2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

事業拠点：埼玉県ふじみ野市亀久保 2201

役員：理事 9 名 監事 2 名 理事会：4 回開催 総会：2 回開催

事業担当職員：4 名（常勤 1 名・非常勤 3 名）

1. 聴導犬の普及・啓発に関する事業

(1) 聴導犬の講演及びデモンストレーション

各種イベント 22 件・学校関係 14 件・協会主催イベント 9 件

計 45 件実施

(2) インターネット系普及活動

SNS の投稿回数は Twitter96 回・Facebook86 回、ホームページの更新 10 回・Instagram78 回 計 260 回

リモデモ聴導犬を YouTube で配信 3 回

(3) マスコミ関係の取材

新聞 3 件 動画提供 2 件 書籍写真提供・原稿確認 2 件 行政 1 件 計 8 件

2. 聴導犬の育成に関する事業

(1) 聴導犬の育成

昨年度導入した候補犬 1 頭と今年度導入した 5 頭（パピー）の訓練を実施

(2) 候補犬の導入

候補犬として 4 頭の兄弟犬と 1 頭の子犬を提携先の団体から導入した。

(3) 希望者相談・希望者対応

聴導犬希望者からの相談は 3 件。メールや FAX などでの相談 1 件と行政からの相談が 2 件あった。

3. 聴導犬の貸与・再訓練に関する事業

(1) 聴導犬の貸与

継続貸与 4 頭。

(2) ユーザーフォロー

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、SNS やメールでのフォローを中心に行った。感染が落ち着いてからは、自宅等での様子の確認も行った。

4. 聴導犬訓練士の育成及び認定に関する事業

(1) 高校の授業協力

都内高校ペットコースに対し、カリキュラムを組み 15 回の聴導犬の訓練に関する授業指導と手話に関する指導を 5 回実施。オープンキャンパスの発表でデモンストレーションを行う。手話に関しては、手話検定を受験し、受講者が合格できるように指導した。

埼玉県内の専門学校で 10 回の講義を実施

(2) 研修生

本年度は、対象の研修生が居ないため訓練士の育成は行っていない。

(3) 訓練士の育成

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、講習等を中止

5. 一般への引退犬・キャリアチェンジ譲渡事業
 - (1) 候補犬からの譲渡 2 頭
ペットアラートドッグ譲渡 なし
 - (2) 引退犬からの譲渡 なし
6. オリジナルグッズの製造販売及び委託販売
 - (1) オリジナルグッズの製造販売
イベントが開始されるようになったので、商品を発注しイベント等で販売した。
 - (2) 委託販売
聴導犬の啓発活動及び育成資金の獲得を目的に、その趣旨に賛同した個人及び企業と委託販売契約を締結した。
7. その他目的を達成するために必要な事業
 - (1) 会員獲得
イベント会場等でパンフレットを積極的に配布し、新規会員の獲得を行った
 - (2) 街頭募金活動の実施
新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、街頭募金活動を中止。
 - (3) 募金箱の設置
年間 115 か所の設置場所を確保し、10 月に回収を行った
 - (4) 企業提携
聴導犬の啓発活動と育成資金を獲得することを目的に、寄付システム及び募金システムを導入している企業・団体と提携し、寄付金の獲得を行った。
 - (5) 企業 C S R
企業の C S R 活動への協力を積極的に行い、社内啓発活動や社員の普及活動へ参加してもらい協会の活動に対して支援と協力を得ることができた。
 - (6) 寄付付き自動販売機
聴導犬の育成資金獲得のため、コカ・コーラ、サントリー、伊藤園 3 社と連携し、全国 14 か所設置。
 - (7) 施設取得
建設予定地の測量及び開発許可を取得。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、2022 年末の開所予定から、2024 年末に変更。そのための資金集めを実施。